

「英語ノート」

守るべき3つのコツ

『成績10倍ノート』の5つのコツのうち、英語では次の3つを特に重視します。

- 2 消さない
- 3 行間・余白を取る
- 4 コピーを貼る

コツ4
を活かす!

本文は貼る

教科書の英文は、**長文ならコピーを貼りつけて**予習時間の短縮を図りましょう。和訳のことも考え、長くなるようなら次のページに分けて貼ります。新出単語には暗記ペンを引きましょう。

新出単語

新出単語はテストに出題されます。しっかり意味を理解しておきましょう。辞書を引く習慣を身につけることも重要です。**単語を暗記ペンで書く**とさらに効果的です。

構文は本文と連動

重要構文をまとめる際には、「**本文のどこで使われているか**」がわかるように**連動**させると効率的です。数字や記号などを使ってリンクさせましょう。

...
...
... she was a junior high
... orchestra in her town.
... orchestra. ① He has been
... visited London.

(ノート例：見開き)

No. _____ Date _____

Unit 4 将来の夢

● Kumi is a high school student in Osaka now.

She started to play the violin when she was a junior high school student. She is a **member** of the **orchestra** in her town.

Mr. Yamamoto is a member of the orchestra. **He has been studying English for three years.** ① **He has visited London.** ②

He said, "English is a very **important** language in today's world."

● member	名詞 (団体・社会などの)メンバー、一員、会員
orchestra	名詞 オーケストラ、管弦楽団
visit	動詞 ～を見物する、見学する、視察する
important	形容詞 重要な、大切な

● 現在完了形 「**have (has) + 過去分詞**」

- ① **継続** ... ずっと～している ※ 後ろに、**for** や **since** がつく
- ② **経験** ... ～したことがある ※ 後ろに、**ever** (疑問文) や **never** (否定文) や **been** がつく
- ③ **完了** ... たった今～し終えたところだ、もう～してしまった。 ※ **have** の後に **just** や **already** などがつく

「英語ノート」は予習で作る!

英語は予習で差がつきます。なぜなら、ほとんどの学校では、教科書の英文を和訳して授業に臨むのが基本だからです。英語ノートは「授業以外の時間に自分で作るノート」だと考えておきましょう。特に新出単語や重要構文は、授業で毎回登場します。後で見返して覚えやすいように、予習の段階で工夫をしましょう。

日付は英語で書く癖をつけよう。

Monday September 13, 2010

久美は今、大阪の高校生です。

彼女は、彼女が中学生だった時、ヴァイオリンを弾くことを始めました。彼女は、彼女の町のオーケストラの一員です。

山本さんは、オーケストラの一員です。

彼は3年間英語を勉強しています。

彼はロンドンを訪れました。
訪れたことがあります。
彼は言いました、「英語は今日の世界で、とても重要な言語です。」

(重要!) play を使うとき、**楽器の前に the をつける!**

I play the piano.

> 宿題 教科書 P56 4行目まで予習

(ワークP86) 現在完了形

1. (1) Paul has lived in Japan **for** six years. → ①
ポールは6年間日本に住んでいる。
- (2) I have **been** to Paris twice. → ②
私はパリに2度行ったことがある。
- (3) I have **just** finished studying English. → ③
私はちょうど今、英語の勉強を終えたところだ。

授業のポイント

右ページの下側は空けておき、授業中に先生が強調したポイントや、練習問題のためのスペースにしましょう。次の予習範囲を書き込んでおいても便利です。

コツ2
コツ3
を活かす!

和訳

和訳は必ず一行間隔で書きましょう。授業で間違ったところはそのまま残し、その下に正しい訳を書き込んでください。そして**復習の時に「なぜ間違ったのか」を考えます**。これを繰り返すことにより、間違いやすいポイントが理解でき、読解力アップに繋がります。

ここがポイント!

英文は左ページ、和訳は右ページに分けて書く

英語では読解力を養うことが重要です。本文の下に直接和訳を書き込んでしまうと、ついついそこに目がいってしまいます。和訳を右ページに分けて書き、英文もしくは和文だけを見ながら訳す力をつけましょう。